文部科学省情報ひろば
サイエンスカフェ

参加費無料
定員30名
事前申込制

医療×経営

健康だって「経営」だ!!

なくして初めて大事さがわかると言われる「健康」。
最近、医療や技術の進歩によって健康の守り方が様々に見出されてきました。そして、今の医療が意外に「後手に回っている」のではないか？という疑問も生まれてきました。
今回は、社会の変化や科学技術の進歩によって医療の姿、役割がどう変わったのか、変わるべきなのかを考えます。「後手に回っている」医療を技術や産業の目線から紐解き、日常生活のちょっとした工夫で社会や医療を変えることを学んでいくことが目標です。
みなさん、健康を守りあっていますか？

講師

山本 雄士
（株式会社ミナケア 代表取締役）

ファシリテーター

宮代 麻由
（東京女子医科大学 4年生）

2018年9月21日(金) 19:00 - 20:30
(18:30- 開場)
文部科学省情報ひろばラウンジ
銀座線「虎ノ門駅」11番出口直結
千代田線「霞ケ関駅」A13番出口 徒歩5分

サイエンスアゴラ2018連携企画
テーマ“越境する”

主催　文部科学省
共催　科学技術振興機構

サイエンスカフェって？

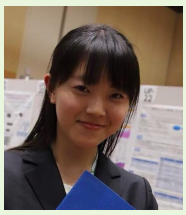
サイエンスカフェは、科学者などの専門家と一般の方々が飲み物を片手に気軽に科学などの話題について自由に語り合うコミュニケーションの場です。「科学の話なんて難しそう…」「興味はあるけど緊張するな…」と思った方も大丈夫！先生たちがわかりやすく最先端の科学の世界を紹介します！

▼前回（7/27開催）の様子

山本さんと宮代さんってこんな人！

講師 山本 雄士

元々は医師として治療をしていましたが、途中で医療改革をしたいと考えてビジネススクールへ留学。その後、行政や企業勤務を経て2011年に株式会社ミナケアを創業しました。ずっと元気でいられる社会を実現すべく、健康に投資するための医療（投資型医療）を提唱しデータを活用したサービスを展開しています。これまでに500万人を超える方々のデータを扱いながら、健康リスクを事前に解消する支援をしています。また、投資型医療などのコンセプトを広めるために私塾として「山本雄士ゼミ」を立ち上げ、毎月ディスカッションを通じた勉強会を実施しています。ゼミでは、この7年で延べ3000人を超える皆さんとこれからの医療について考えてきました。



ファシリテーター
宮代 麻由

現在、東京女子医科大学医学部4年生で、今年度の山本雄士ゼミでゼミ長を務めさせていただいております。昔から生物の勉強が好きで、医学部に入ってからは特に生理学や脳神経の分野に興味を持つようになりました。大学では医学を学びつつ、自分が医療者として将来どうありたいかを考えていくにあたり、より大きな社会の中で回る医療の役割と可能性を知ることができる学びの場に幅広く足を運びたいと思っています。趣味は弓道とダンスで、いま特にインプットを増やしていきたい分野は地域医療とメンタルヘルスです。

申込方法

右記のフォーマットで、事前にメールでお申込ください。

Email
［宛先］sciencecafe@ifys.jp
［件名］9/21サイエンスカフェ参加希望

氏名：
所属：
山本先生に聞きたいこと：（ありましたらお書きください）

＼参加をお待ちしています！／

今後の開催日時	講師名（所属）	テーマ
10月19日（金）19:00-20:30 ※通常の開催月とは異なります	上野 未貴　（豊橋技術科学大学・助教）	ICT（仮）